

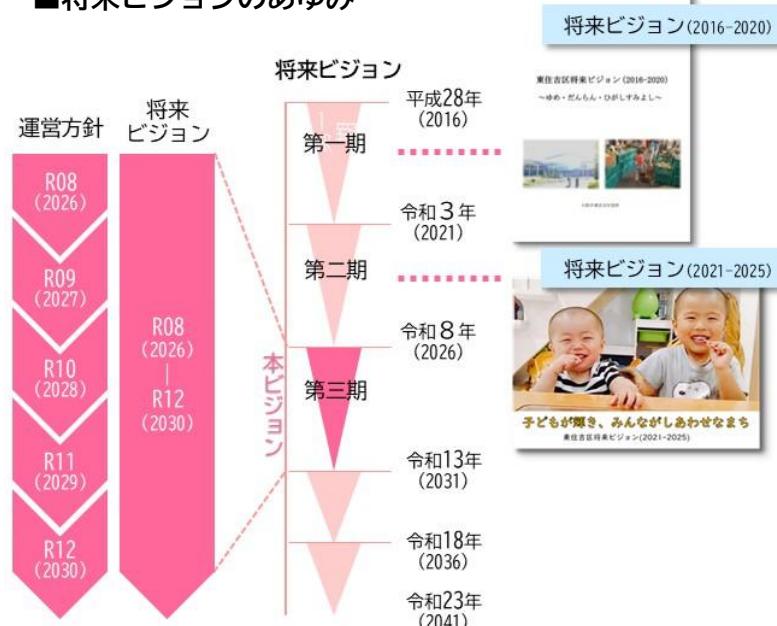
東住吉区将来ビジョン(2026-2031) 概要版

1. 「将来ビジョン」とは

「東住吉区将来ビジョン」(以下、将来ビジョン)は、区長が区内の基礎自治行政を総合的に推進していく上で、地域としての区のめざすべき将来像、将来像の実現に向けた施策展開の方向性等をとりまとめ、区民の方々に明らかにするものです。

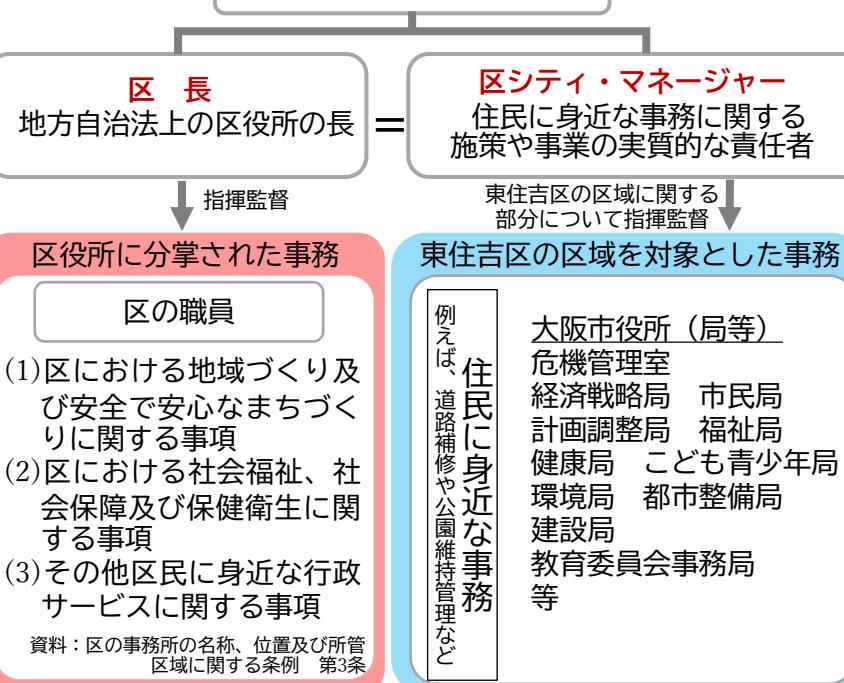
また、「東住吉区将来ビジョン」で示された施策展開の方向性に沿って、施策・事業の取組を推進するため、単年度ごとのアクションプランである「運営方針」を、毎年策定します。

■将来ビジョンのあゆみ



2. 区役所と区長の役割

区長の2つの顔



3. 東住吉区の現状と課題



東住吉区は大阪市の南東部に位置し、かつては農村地域でしたが、昭和初期から戦後にかけて急速に市街化が進み、現在では区の約3分の1が住宅地となっています。戸建て住宅が多く、旧村のまちなみが今も残るなど、歴史ある景観が魅力です。

東住吉区の特徴

- ①住宅系施設が多い、住まうまち
- ②児童数が多い、子育てのまち
- ③つながり・支え合いを大事にしているまち
- ④都心に近く、生活利便性の高いまち
- ⑤スポーツに親しみやすく、自然を感じられるまち

まちづくりの課題

- ①人口減少・少子高齢化の深刻化
- ②健康と地域福祉増進による安心の確保
- ③地域防災力の向上
- ④事業所の減少に伴う地域経済の減退
- ⑤公共サービスの持続的な発展とインフラの維持・活用

4. 区のこれからを考える

現状と課題を踏まえ、Strength(強み)、Weakness(弱み)、Opportunity(機会)、Threat(脅威)の観点で整理

(例)子育て

Strength (強み)	・合計特殊出生率は大阪市全体より高く、市内では比較的児童数が多い ・登下校時の見守り活動等、地域の子ども達への想い
Weakness (弱み)	・大阪市は全国平均より児童虐待が多い
Opportunity (機会)	・転入人口が増加
Threat (脅威)	・ひとり親世帯の増加と子どもの貧困

区政会議で、東住吉区の特性や魅力について委員による意見交換を実施

将来像の実現に向けた施策展開の方向性

- ①法令等に基づく事務を適切に実施
- ②区役所の裁量で実施する事業にあっては、めざす将来像の実現のために取組を推進

5. 東住吉区がめざす将来像

区政会議での議論を経て、東住吉区が2030年に目指すべき将来像を次の通り掲げます。



将来像の実現のための目標

みんなで子どもを育てるまちづくり

視点 (Perspective): 子どもたちのゆめを育む
子育てしやすいまち

めざす姿 (成果) (Goals):

- 重大な児童虐待ゼロ、子どもがしっかりと育つまち東住吉

みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり

視点 (Perspective): みんな健康で元気になる
不安ゼロのまちにする

めざす姿 (成果) (Goals):

- 健やかに暮らし、防災・防犯の取組が充実したまち東住吉

みんなでつながり・支え合うまちづくり

視点 (Perspective): 互いの顔を知っているまちにする
困ったときはお互い様のまちにする

めざす姿 (成果) (Goals):

- お隣さんを知って、地域活動で支え合うまち東住吉

みんなでわくわくを創造するまちづくり

視点 (Perspective): 誰もが主体的にまちづくりに参加するまち
日常で楽しいを実感できるまち

めざす姿 (成果) (Goals):

- まちの魅力が区内外に伝わるまち東住吉

みんなが便利さを感じ続けられるまちづくり

視点 (Perspective): 誰もが主体的にまちづくりに参加するまち
日常で楽しいを実感できるまち

めざす姿 (成果) (Goals):

- 日常の便利さに加えて行政サービスからも生活の質の向上を感じられるまち東住吉

みんな=住む、働く、学ぶなど東住吉区に関わる様々な人々、事業者、団体のことです。